長生村議会議員

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2019 年 12 月 130 号
石井としお後援会発行
部内討議資料
長生村七井土 1387-2
電話 090-3094-0321

ハウス被害・国・県・村が 9 割補助
「災害情報を充分伝えなく反省」小高村長
―交流センター建設費 2 倍、全村民説明会を要望―

台風 15、19、21 号の強風と大雨による被害が全国的に発生し、茂原市、長柄町などでは人的被害、本村でも一宮川の決壊による住宅の浸水、停電、また農家ではハウスが壊されたり、住宅の瓦が飛ばされたりしました。被害を受けた方々に御見舞いを申し上げます。復旧に向かう中、冬も本番になりました。来たる年が災害のない安心安全な一年であるよう願っています。今号は石井としおが 12 月定例議会でその台風被害の検証と復旧への展望を質問しましたのでお知らせします。

―茂原市災害ごみ仮置き場
市の被害は甚大でした―

石井としおの一般質問

1、台風災害の検証を質問

①今回の台風と大雨に関する最大風速、最大雨量の数値を伺います。

総務課長　茂原観測所によると台風 15 号は最大瞬間風速 34.3m、最大雨量 30.5mm。台風 19 号は最大瞬間風速 27.8m、最大雨量 18.5mm。台風 21 号は最大瞬間風速 14.0m、最大雨量 35.5mmでした。

②台風 15 号では停電が長引き、特に信友マリオン団地や水口地区の住民が苦しんだ。何故停電が把握できなく復旧が遅れたのか。

総務課長　停電は把握していた。東電より「東電にかかっている倒木の処理は感電の恐れがあり、絶対に行わないこと」とのことでした。9 月 13 日に連絡が取れ、翌日、復旧工事を行いました。これ以上早い対応は困難でした。

③避難所開設案内、停電、罹災証明などについての情報発信を防災無線や広報車などで万全に行ったのか

総務課長　台風 15 号での避難所開設案内につきましては、防災行政無線、ホームページ、防災メール及び民生委員による声かけで周知を行い、停電情報につきましては、防災行政無線にて周知しました。

④15 号時に防災無線、広報車などを頻繁に流すことを（石井から）総務課長経由で村長にお願いしたが、対応しなかった理由はなぜか。

総務課長　たしかに石井議員から要望がありました。先ほど、木嶋議員の質問でお答えしたとおり、正確な情報を得ることができなかったためです。

石井　罹災証明の手続きなど防災無線で流さなかった理由はなぜか。

総務課長　保険金等の請求される方へのお知

らせとして、「本災害に関する保険金等の請求は、罹災証明書は原則必要ない」とのことであり、防災無線での対応はしませんでした。

石井　保険に入っていない村民もいます。白子町では何回も防災無線で「被災証明の手続きを役場でしています」と流していた。反省点ではありませんか。

総務課長　罹災証明が「必要、必要ない」など混乱を招くと考え広報でも周知しなかった。今後は罹災証明の相談窓口を作っていきたい。

―長生村文化会館避難者―

石井　村長にお聞きします。村民からは「防災無線の回数、広報車の使い方、倒木の除去、停電が長引き風呂に入れなかった」など、沢山の苦しみや苦情を聞きました。村民に配布した資料と 12 月の広報を見ますと村長は「お見舞いと反省」は書いていますが、お詫びの一言がない。答弁お願いします。

村長　停電が長引いた信友マリオン団地の方々からは「村の対応が遅い、土下座して謝れ、次の村長選挙は落としてやる」と言われました。反省し、次回にいかします。

⑤台風 15 号、19 号で福祉センターの風呂を開設しなかった理由はなぜか。

総務課長　木嶋議員の質問でお答えした。尚、21 号の時は、お風呂は開設しました。そして今後は民間の施設とも協議していきます。
※21 号からお風呂を開設したことは一歩前進でした評価します。

⑥15 号台風時に災害対策本部を設置しなかった理由はなぜか。

総務課長　事前情報としては、「コンパクトでスピードが速い」との情報であったことから、第２配備体制（警戒配備）で可能だと判断したので、災害対策本部の設置はしなかった。

⑦15 号台風時に災害対策本部を設置し、職員、自治会、自主防災組織、民生委員、消防団にも支援の協議、要請をとれば良かったとは思いませんか

総務課長　ご質問の内容につきましては、更に検証を進めてまいります。なお、台風 19 号の際は、台風 15 号の経験を教訓として、早期に災害対策本部を設置したところであります。

⑧今回の台風災害を経験した中で、事前・事後の反省と今後の対応策を伺います。

村長　今回の台風１５号の災害対応では、風害の想定が甘かったこと。また、停電が長期化したことにより住民生活に支障をきたしてしまったことや住民にとって必要な情報が十分に伝えられなかったことが反省すべき点です。１１月１１日に千葉県市長会並びに千葉県町村会を通じて「令和元年台風第１５号、台風第１９号及び１０月２５日の大雨の災害対応に係る千葉県への要望」を千葉県知事宛てに提出しております。災害対応につきましては、今後、その後の経験も踏まえ、更なる充実を図ってまいります。

⑨今後、被災状況の把握や安否確認を自治会と自主防災組織、民生委員に協力依頼する考えはありますか

総務課長　民生委員には、平時から災害時の協力要請はしております。また、自治会及び自主防災組織への協力については、必要に応じてお願いをしたいと考えます。

⑩自治会と自主防災の協力が最も大事だと思います。七井土自治会では自治会長名で班員に対し「自治会館に避難所を開設するので問い合わせしてください」とした通知を回しました。私は台風が去った 13 日の早朝、班長と

一緒に全班員宅を回りました。この様に、自治会の皆様にお願いし自治会員の被災状況を把握し、役場に報告すれば良いと思います。そうすれば自治会への信頼も深まります。自治会との連携強化が必要かと思います。

総務課長　自治会、自主防災会との関係ですが、今後の検証課題だと思います。必要であれば自治会、自主防災組織にお願いしたい。

石井　是非とも、自治会、自主防災会にも要請すべきだと思います。

⑪災害を事前に予測し、事前行動計画の策定としてタイムラインを作る考えはありますか

総務課長　平成３０年９月会議でご答弁させていただいております。名称こそ違いますが、「事前行動マニュアル」を策定しております。

⑫「タイムラインに勝るものとして事前行動マニュアルを作ってある」とのこと。どこに書いてありますか。教えてください。

総務課長　本村の事前行動マニュアルにも 3 日前に行動しようとなっています。15 号時も 3 日前から準備した。※後で報告をもらいます。

⑬七井土交差点周辺の排水不良に対し、浸水災害の抜本的な対策が必要ではないか。

まちづくり課長　当該箇所の抜本的な対策とし、国道を横断して一宮川に排水する整備が有効な手段と考えられます。今後、県で行う一宮川への対策状況を注視しながら、村では排水路の国道横断の要望を行い、村の対策を検討したいと考えております。

⑭今回、一宮川の堤防が決壊し茂原市を含めて七井土にも被害がでました。その対策案として「堤防決壊場所には強固な工事が必要・金田から上流まで拡幅工事を早急に実施すること・調整池が現在 3 つあるが不十分、拡大か増設を・堤防のかさ上げ」などを検討し県に上げてほしい。

村長　茂原市長と国に陳情します。石井議員の意見も参考にしていきたい。

2、交流センター住民説明会求める

⑮七井土と睦沢町にまたがる道路の新設要望を七井土自治会から提出しています。要望に対する村の考え方を伺います。

村長　当該箇所は、睦沢町の区域も含んでおり、現在のところ睦沢町からの協議や要望は無く、既存道路をもって緊急車両等の通行も可能な状況ですから道路新設の予定はない。

石井　12 月 3 日付で睦沢町うぐいすの里区長名で道路新設の要望が睦沢町に出されています。長生村と睦沢町の住民要望ですので検討をお願いします。

⑯交流センターの建設費が当初より 2 倍を超える建築費です。全村民に対する説明を行い理解と納得、設計変更も含めて再検討する必要があります。全村民に対する住民説明会を開催してほしい。

村長　これまで、まちづくり推進委員会や公民館審議会で建設費増を説明し理解されています。今後は広報などで丁寧に周知していきたい。全村民への説明会は予定していない。

⑰八積駅の跨線橋にエレベーターを設置した場合の工事概算金額はいくらになるのか。

村長　平成 20 年度に策定しました「八積駅北側周辺まちづくり基本計画」で「自由通路」の概算事業費として 10 億 2.000 万円と見込んでおりました。

まちづくり課長　一宮町に設置した跨線橋の工事費は 1 億 2700 万円です。

3、他の案件・議案への報告

① 新しい議長が決まりました。

12 月 3 日、矢部議長が一身上の都合で議長を辞職し、議長選挙がおこなわれ、小倉氏が 8 票、門口氏が 6 票で小倉議長が新議長となり、副議長は井下田議員にきまりました。尚、門口氏は「憲法を大切にし、公

正・中立・民主的な議長運営を行う」ことが確認できたので門口氏に投票しました。

② 30 年度の決算報告は不認定

関、塩谷、石井のみが、一般会計、国保、下水、介護、後期高齢などの決算を不認定としました。ふるさと納税を使い体育館などにエアコンを設置しないことや国保税を値下げしなかったことがその理由です。

③ 議案 48 号村長給料 1 割カット

議案は職員の懲戒事案を重く受け止め職員に対する管理監督責任として特別職の給料を 1 割カット、3 か月するものです。

石井　該当する課の名前を教えてほしい。中身はパワハラ、暴力、土地登記の未処理などが理由でした。職員当事者にも責任がありますが、問題は直属の管理者が職員への育成、指導、チェック、職場内トラブルの解消に向け、どう努力したかです。

副村長　担当課は旧建設課、福祉課です。毎日の朝礼、課内会議は月一回、課長と職員の面談を年2回実施し問題が発生しないように努力してきた。今後も発生しないよう努力したい。

石井　村長は各課の管理者に対し、どのように課長へ指導、育成、職員間のトラブル解消への指導をしてきたのか伺います。

小高村長　まったく予想していなかった。悲しいことです。今後、発生しないようにしたい。お詫びします。

④ 議案 50 号一般会計補正予算

交流センターの建設費が2倍にふくれ上がり、全村民を対象とした住民説明会を開くことを強く要望したのですが、開かないことは大問題です。しかし、今回の台風被害を受けたハウス農家への9割補助や家屋の被害を受けた方々への支援は緊急の課題です。よって一般会計補正予算には賛成しました。

湯川れい子さん講演

12 月 8 日

「憲法を活かす会山武長生」主催の、湯川れい子さんの講演が大網で開かれ参加しました。「日本の憲法は、GHQ に押し付けられたという話を聞きます。しかし、良い中身を押し付けられたのです。戦争しない 9 条は宝物です。」という主旨の話でした。湯川さんは今 83 歳。音楽評論家、作詞家、翻訳家として活躍中です。環境問題や平和運動にも携わり、反核、反原発にも積極的に発言を続けています。多くの経験と、多方面との交流からうまれた深い知識の話に引きつけられました。

編 集 後 記

◎今年、世界で地球温暖化による災害が最も多かったのが日本だと発表されました。千葉県も台風 3 つに遭遇し、停電を含めて甚大な被害を受けました。記憶に残る一年になりそうです。

◎今回の災害は激甚災害ですから被害額によって災害支援の金額が変わり、罹災証明も必要となります。詳しくは役場総務課に問い合わせください。

◎まもなく正月です。みなさまに安心安全な、健康で幸せ多い新年が訪れますようお祈りします。一年間、お世話になりました。

◎石井としお通信は会費と寄付金で発行しています。年会費 1000 円で会員募集しています。